

学習形態は大きく分けて4つ

①

通信授業
(テキスト)
による学習

②

面接授業
(スクーリング)
による学習

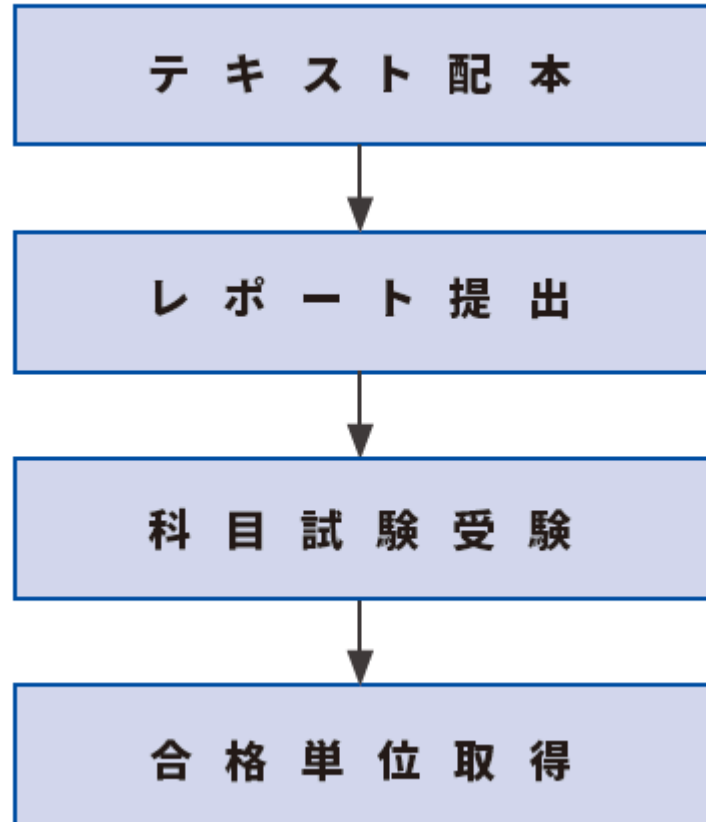
③

メディア授業

④

卒業論文

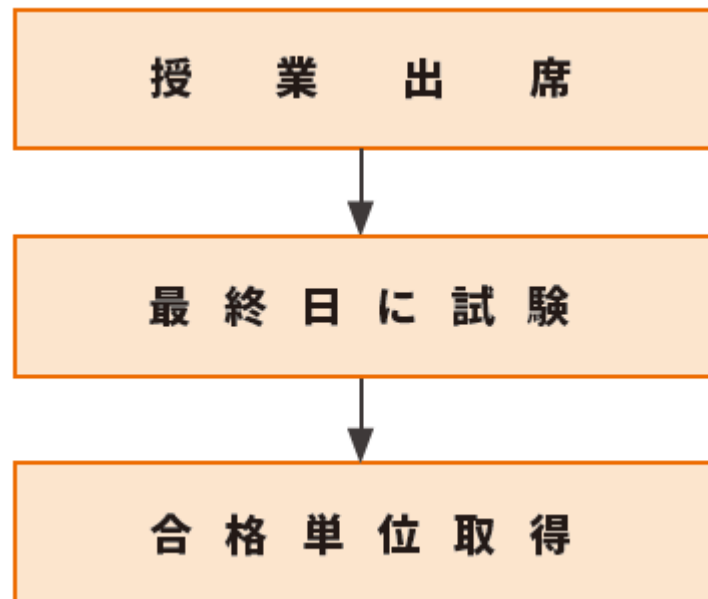
①通信授業(テキスト)による学習



- 卒業所要単位の6~7割を占める当課程メインの学び方
- 締め切りまでにレポートを提出することで科目試験の受験資格を得ることができる
- レポートと科目試験を両方合格することで単位を修得することができる
- 試験は年4回実施
- テキストの一部は電子テキストとして閲覧可
- レポートの一部はWEB提出可



②面接授業(スクーリング)による学習



■通称スクーリング

■実際にキャンパスに通学する

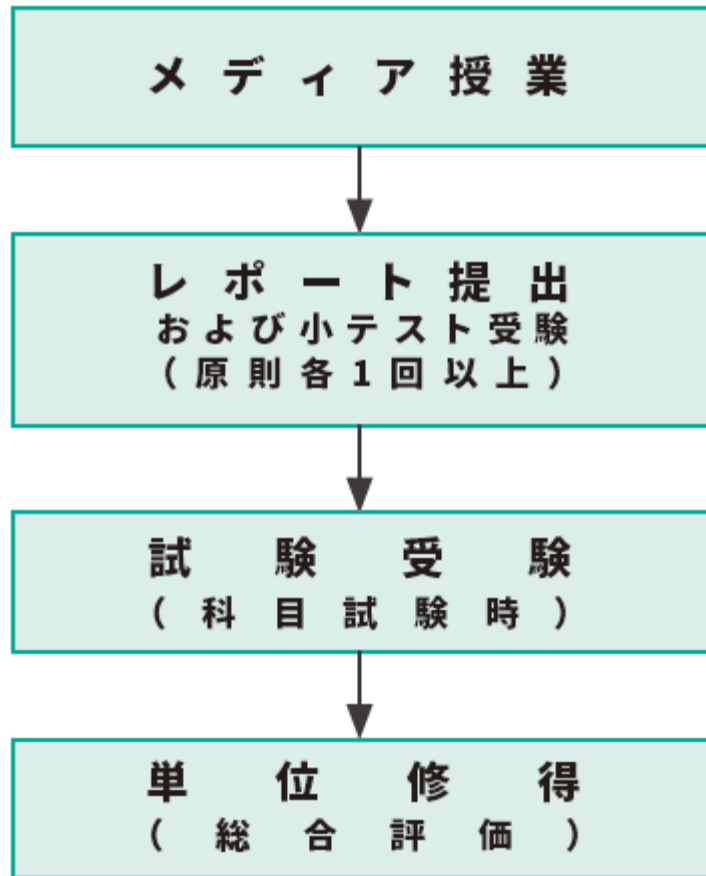
■スクーリングの最終日に試験がある

■卒業までに必要なスクーリング単位数がある 普通課程:30単位 特別課程:22単位 学士入学:15単位

■毎年夏期スクーリング・夜間スクーリング・週末スクーリングが開講される

■一定期間三田・日吉キャンパスへの通学が必要

③メディア授業

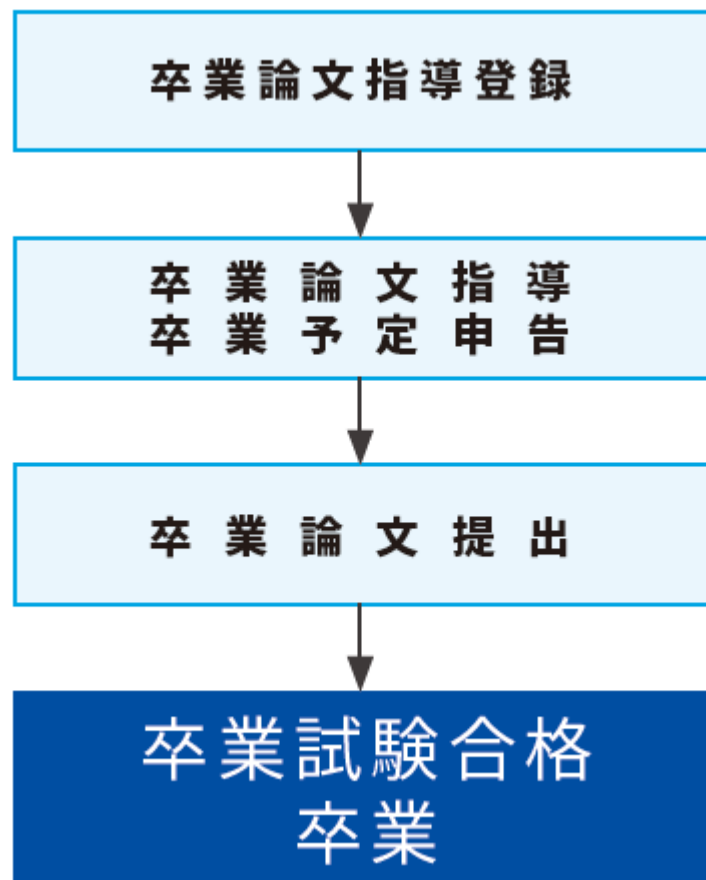


■インターネット上での学習

■所定の時期にレポート・小テストを実施
→さらに科目試験の合格で単位修得できる

■最大10単位までスクーリング所要単位に振り替えることが可能

④卒業論文



- 卒業論文の提出は必須
- 自身で決めた専門テーマで論文を書く
- 専任教員の卒業論文指導を複数回受ける
- 卒業試験に合格 + その他卒業要件の単位修得で卒業が決まる

教職課程

教職コース登録の手続（4月期、10月期）



教職単位の修得



[介護等体験（中学校免許状取得の場合）]



教育実習（原則として卒業年度）

- 教育職員免許状の取得を希望する学生のための課程
- 正科生として卒業して、学士の学位を有し、卒業所要単位とあわせて免許状取得に必要な単位の修得
- 教職コースへの登録が必要

教職課程

当課程で取得することが認められている免許状の種類と教科

学部	免許状の種類・教科	
	中学校一種	高等学校一種
文学部	国語科	国語科
	社会科	地理歴史科、公民科
	英語科	英語科
経済学部	社会科	地理歴史科、公民科
法学部	社会科	地理歴史科、公民科



教職課程

■教職課程科目等履修生

正科生卒業後に1年間在籍し、修得し残した単位を修得可能

■登録資格

慶應義塾大学卒業者、慶應義塾大学大学院修了者